

令和6年度学校経営方針

1 教育目標

『自立と貢献』 ・よく考える子 ・思いやりのある子 ・じょうぶな子

令和7年度より、鹿骨小学校は松本小学校と統合し、「鹿骨松本小学校」として新校が誕生します。

鹿骨小学校として最後の年を迎える令和6年度は、児童にとっても学校にとっても大変貴重な経験ができる年になります。閉校・統合するにあたり、児童は新しい交友関係を自ら築くとともに互いに協力していく「自立と貢献」の力が必要になってきます。また、関わる友人や地域が広がることに伴い、自分の可能性を信じ、新たな道を自ら切り拓く力と自ら進んで変化を生み出す力も求められることとなります。

そこで、令和6年度の教育目標を『自立と貢献』とし、子供たち一人一人が確かな学力、豊かな心、健やかな身体を確実に身に付けることで自己肯定感を高め、コミュニケーション能力の向上を重視した閉校・統合に向けての準備をしていきます。

2 教育目標の達成に向けた基本方針

- (1) 確かな学力を育てます
- (2) 豊かな心を育てます
- (3) 健やかな身体を育てます
- (4) 特別支援教育を推進します
- (5) 家庭・地域との連携・協働を推進します
- (6) 60周年、松本小学校との統合、閉校を児童の成長の機会ととらえ、コミュニケーション能力と愛校心を育てます

3 具体的な取組

(1) 確かな学力の育成

①自ら進んで学ぶ態度を育みます

・主体的に学習に取り組む態度を育てるために、「学びのユニバーサルデザイン」を推進し、授業の内容、指導の方法を工夫・充実させます。

・一人一人の児童の実態を踏まえ、興味・関心や学ぶ意欲を高める指導を充実するために、ブロック学年による協業体制のもと、全学年による一部教科担任制、算数での習熟度別学習、ICT機器の効果的な活用などを進めます。

・一人一台端末の活用、家庭学習の充実を図り、児童一人一人の学習進度に合わせた学習習慣の定着を図ります。

・読書科、総合的な学習の時間等において、多様な図書資料やゲストティーチャー、校外活動等体験的な学びを充実させ、主体的・対話的で深い学び、個別最適な学びと協働的な学びを推進します。

②基礎・基本の確実な定着をめざします

・自ら進んで学ぶ姿勢やねばり強く取り組む態度を育むために、日々の授業の中で、基礎・基本を定着させる時間を位置付けたり、児童に自分自身の学習の達成状況を振り返らせる機会を設けたりします。

・定期的に児童の学習の定着状況を把握し（東京ベーシックドリル診断シート、標準学力調査、区学力調査）、その結果などをもとにカムバック教室（民託補習教室）、サンライズ教室、サマースクールを実施します。

・学習習慣定着のためドリルパークや読解力向上を目指した取組を進めるとともに、家庭への働きかけを行います。

③考える力、表現する力を高めます

- ・自ら課題を見つけ、調べてまとめ、発表する力を高めるために、学校図書館を活用した「調べる学習」を推進します。
- ・問題の解決に向けて、見通しをもって粘り強く取り組んだり、友達とかかわりながら考えを深めたり、自分の学びを振り返って次の学習に活かしていく機会を充実させます。

④これからの時代に必要な力の育成を進めます

- ・タブレット端末を効果的に利用するなどして、ICT機器の基本操作や発達段階に応じた情報リテラシー、情報モラルを育成します。
- ・英語力をつける学習として、1，2年生から「放課後英会話教室」を行い、3年生からの外国語活動へスムーズに繋がられるようにします。また、身近な英語の語句や表現に慣れ親しませ、コミュニケーション能力の素地を養うとともに、児童に言語や文化についての理解を深めさせます。

⑤教育活動の改善・充実を進めます

- ・児童に必要な力を育むために、教科の枠を超えた学習の設定、外部人材の活用も含めた指導体制の充実、さまざまな教育資源の活用などを進めます。
- ・教育活動の計画・実施・評価・改善のサイクルを機能させます。また、その内容の積極的な発信に努め、家庭や地域の率直な声を受け止めて、改善・充実を進めます。

(2) 豊かな心の育成

①基本的な生活習慣を育てます

- ・「鹿骨小の一日」に基づき、保護者の方々の理解と協力を得ながら、基本的な生活習慣の確立をめざします。
- ・年間通して清掃や給食指導を行うとともに、教職員による校門や教室でのあいさつ指導を行い、明るく元気な学校づくりを目指します。

②主体性や自主性を育む取組を推進します

- ・係活動や当番活動、委員会活動などの充実を進めます。
- ・児童の主体性や自主性、コミュニケーション能力を育むため、異年齢交流活動「なかよし班活動」を計画的に実施します。

③自分のことも相手のことも大切にす気持ちを育みます

- ・特別の教科 道徳を中心に、道徳授業地区公開講座などを通して保護者や地域の協力を得ながら、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てます。また、年間を通して「考え、議論する道徳」への授業改善を図ります。

④豊かな情操を高めます

- ・音楽会に向けた取組を通して、友達と協力して創り上げていくことの喜びを実感させます。
- ・読書活動をきっかけに、子供たちが本に親しむ時間を十分確保するとともに、探究的な学びを追求していきます。

⑤体験活動を推進します

- ・5年生のウインタースクール、6年生の日光移動教室、地域や外部指導者による出前授業等を実施し、自然や文化、伝統などに触れる体験を行います。
- ・地域の特徴を生かした体験活動や調べ活動、伝統芸能やオーケストラの鑑賞、学校行事や当番活動など、本物を見る、体験する活動を重視します。
- ・学校図書館を活用した読書活動や道徳授業の充実を図り、豊かな心の育成を推進します。

⑥健全育成を推進します

- ・いじめの防止を徹底するため、ハイパーQUTEST（楽しい学校生活を送るためのアンケート）や児童へのアンケート調査による実態の把握、友達のよさを見つけ認める取組の充実などを推進します。

- ・情報通信機器によるトラブルの未然防止を推進します。
- ・不登校、不適応などの問題行動や児童虐待の未然防止、適切・迅速な対応の徹底を図るために、教職員間での定期的な情報共有や対応を推進します。また、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、関係諸機関などとの連携を積極的に図ります。

（３）健やかな身体の育成

①自らの体力を高めようとする態度・意欲の向上を図ります

- ・体力テストの結果をもとに自分の体力を把握させ、体力向上への意欲を高めます。
- ・朝の校庭を開放し、「毎日マラソン」「毎日なわ跳び」を継続して行い、自ら体力を高めようとする態度を育てます。
- ・全校でなわ跳びに取り組み、学期に１回「江戸川っ子なわ跳びチャレンジウィーク」を設定し自らすすんで体を動かす習慣をつくり、体力向上を図ります。
- ・運動意欲や基礎体力の向上を図るため、校内水泳記録会、校内マラソン記録会を行います。

②自ら進んで健康・安全な生活を送る力を高めます

- ・自分の身体や健康に関心を持ち、健康で安全な生活を実践していこうとする態度を育てるため、保健の授業や発育測定之机をを活かした保健指導の充実を進めます。

③食に関する関心を高めます

- ・食への関心を高めるため、給食に日本や世界の料理、季節に応じた食材を提供したり、マナーを学ぶ機会を設けたりします。
- ・食物アレルギーに対する理解を深め、全教職員で共通理解し事故防止を徹底します。

④自分の身体、命を自分で守る力を高めます

- ・さまざまな自然災害を想定した多様な避難訓練、薬物乱用防止教室、セーフティ教室、情報モラルにかかわる指導、不審者対応訓練などを進めます。
- ・登下校の安全確保、自転車の乗り方をはじめ交通安全にかかわる指導を進めます。

⑤事故防止を徹底します

- ・施設・設備及び教育活動にかかわる安全管理を徹底します。
- ・校外学習、宿泊体験学習などでの安全確保を徹底します。
- ・食物アレルギーにかかわる事故防止を徹底します。
- ・事故発生時の迅速・的確な対応を図るための準備などを進めます。

（４）特別支援教育の推進

①ユニバーサルデザインの考え方を推進し、学校の環境の整備・充実に努めます

- ・児童にとって学びやすい教室環境を提供します。
- ・児童、教職員、用務が連携し、清掃の徹底、校内美化の推進を図ります。
- ・自然環境を整備し、教育活動への活用を進めます。

②個に応じた指導を充実します

- ・小規模校としての利点を生かし、ブロック担任によるきめ細やかな指導を行います。
- ・配慮を要する児童に対して、教室内での安定した生活ができるよう個別の指導計画を作成するとともに、家庭や関係機関と連携し、個に応じたきめ細やかな指導ができるようにします。
- ・配慮を要する児童がいつでも利用できるエンカレッジルーム（スマイルルーム）を常設し、必要に応じて対応教員を配置します。

(5) 家庭・地域との連携・協働の推進

①学校への理解を深めていただくよう努めます

・教育活動の実際や児童の様子、学校の方針や取組などを、ホームページ、学校公開、学校だよりなどにより、積極的に情報発信していきます。

②家庭や地域の方々との連携を推進します

・児童が自ら地域を支える人材として育っていくよう、PTA、学校応援団、地域の皆様などのお力をいただきながら教育活動を進めます。

・「江戸川区・鹿骨」への愛着を高めるため、花きの栽培など地域の文化や伝統を学ぶ活動を進めます。

・多彩なゲストティーチャーを招き、「本物」を学ぶ機会を充実します。

③保護者や地域の方々の声を受け止め、学校の改善を進めます

・学校の改善・充実を進めるため、個人面談やさまざまなアンケートなどを通して、児童、保護者、地域の方々の率直な声を受け止めていきます。

・教科横断的な学習の展開を一層推進し、教育効果を高めた指導を推進します。また、学校関係者評価や各行事の保護者アンケートなどから、家庭・地域の率直な意見を受け止め、校内組織のPDCAサイクルを充実させて教育課程の改善・充実を図ります。

(6) その他

①60周年記念式典、閉校式典に向けた取組の充実を図ります

・各式典では、総合的な学習の時間や特別活動などの学習活動を工夫し、日常の学習成果を内容に取り入れることで、児童が積極的に行事に参加できるようにしていきます。

・60周年記念式典、閉校式典に向けた取組と道徳を関連付け、愛校心をもたせる指導を展開し、学校にかかわる様々な人々への感謝と敬愛の念を深めていきます。

・令和7年度からの松本小学校との統合に向けて、各教科、特別活動などでコミュニケーション能力を重視した児童交流を進めます。

・統合に向けて、松本小学校教職員との準備委員会を定期的開催し、児童が互いを認め合い、よりよい学校を作っていくと心を決意できるような活動の充実を努めます。

②「働き方改革」を推進します

・教職員の在校等時間「週60時間」以内を目標に、業務の効率化を推進します。

・教職員の事務負担の軽減を図り、授業や指導により専念できるよう、スクールサポートスタッフや副校長補佐の活用を進めます。

③教職員の人材育成を推進します

・校務分掌を整理することでOJT体制を明確にし、各職層に応じた支援、育成を組織的に行います。

・ブロック学年による協業体制及び主幹教諭を中心にした校内組織の中で、「学習指導力」「生活指導力」「外部折衝力」「学校運営力」の育成を図ります。

④全体の奉仕者としての職責を自覚し、誠実、公正な職務執行を行います

・不適切な行為（わいせつ行為）、セクシャル・ハラスメント等の禁止

・私的なメール、SNS等の禁止 ・個人情報の適切な管理等 ・体罰等の禁止

・飲酒に伴う不適切な行為の防止等 ・自家用車通勤の禁止、交通事故の防止

・パーソナルコンピュータの適切な利用等 ・利害関係者との不適切な接触等の禁止等

・会計事故の防止 ・児童・生徒等の模範となる身だしなみ等 ・障害者差別の禁止等

・パワーハラスメント（パワハラ）の防止 （東京都教育委員会「使命を全うする！」より）